

9月9日は「救急の日」

# 救急医療の利用は 正しい理解で適正に

ID 1004348

急な病気やけがをした時、誰もがつい慌ててしまいがちですが、普段からそのような事態に備えておけば、いざという時に素早く適切に対応することができます。

必要な時に、誰もが安心して救急医療を受診できるよう、救急医療機関や救急車の利用方法について、正しい知識を身に付け、適正に利用しましょう。

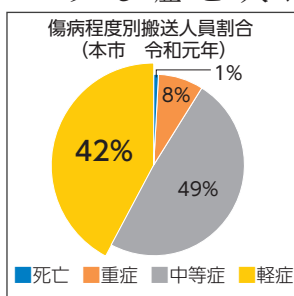
☎保健所総務課 ☎(626)1103



## 救急搬送の4割を 超える人が軽症の患者

令和元年の救急出動は2万2052件、1日の平均は60.4件。搬送人員は1万9380人で、市民の27人に1人が医療機関に搬送されたこととなります。

また、救急搬送された人の中で4割を超えている人が、入院を必要としない軽症の患者でした（下のグラフ参照）。



## 必要な人が必要な時に 安心して利用できるように

近年、救急車の出動が増え、救急隊が現場に到着するまでの時間も伸びています。

救急車は、けがや急病などから皆さんの生命を守るため、限られた台数を最大限に活用し、昼夜を問わず出動しています。

救急車や救急医療は限りある資源です。救急医療を本当に必要とする人が安心して利用できるような私たちが実践できることを実践しませんか（5ページ参照）。

## ■ 通報は慌てず正確に

ID 1021354

☎消防局通信指令課 ☎(625)5599

119番にかけた時には、次のことを伝えてください。

### ① 「救急です」。



## ■ 119番にかけるのはこんな時

ID 1003318

☎消防局警防課 ☎(625)3008

- ▼呼び掛けても返事がない（意識がない）。
- ▼呼吸が苦しい、顔が真っ青、息をしていない。
- ▼けいれんが続いている。
- ▼急にろれつが回らなくなった、手足の動きが悪くなった。
- ▼車に跳ね飛ばされ大きなけがをした。
- ▼高いところから転落し大きなけがをした。
- ▼大出血している。
- ▼急に激しい頭痛・胸痛・腹痛があるなど。

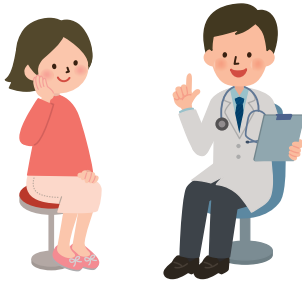
# 救急医療を本当に必要とする人が安心して治療を受けるために 私たちにできる4つのこと

ID 1004353

## 1 「かかりつけ医」を持つ

かかりつけ医とは、病気になった時の初期の医療や、日頃の健康に不安を感じた時に相談できる身近な診療所の医師のことです。

体の不調を感じた時は、早めにかかりつけ医に相談し、適切なアドバイスを受けてください。



## 2 できるだけ昼間の診療時間内に受診する

救急外来は便利な時間外に受診できる医療機関ではありません。救急時以外の受診は避けましょう。

救急医療は緊急時に備えるためのもので、本来の診療時間とは異なり少人数の診療体制となっているため、専門的な診療が受けられないことが多くあります。より充実した診療を受けるためには、昼間の診療時間にかかりつけ医などで受診することが一番です。

## 3 夜間・休日の急な病気は、まず夜間休日救急診療所へ

緊急時、比較的症状が軽い場合は、まず「夜間休日救急診療所」を受診してください。

なお、夜間休日救急診療所では、薬は原則1日分に限って処方されるなど、応急的な処置に限られています。

翌日にはかかりつけ医を受診しましょう。

診療科目など、詳しくは、6ページをご覧ください。



## 4 救急車を適正に利用する

救急搬送された人の中で4割を超える人が、入院を必要としない軽症の患者でした（4ページのグラフ参照）。

緊急性が高い症状かどうかを判断するのは難しいことですが、「救急車を利用すればすぐに病院に行ける」などの安易な救急車の利用はやめましょう。緊急性があり、本当に救急車を必要とする人への救命処置などが行えるよう、適正に利用しましょう。救急車を呼ぶか迷った時は、とちぎ救急医療電話相談またはとちぎ子ども救急電話相談（6ページ参照）へ。

④ 通報している人の名前と電話番号。



③ 誰がどのような状態か（呼び掛けた時の反応や意識の状態など）。



② 住所・目標になるものを明確に（携帯電話の場合は必ず市町名から）。

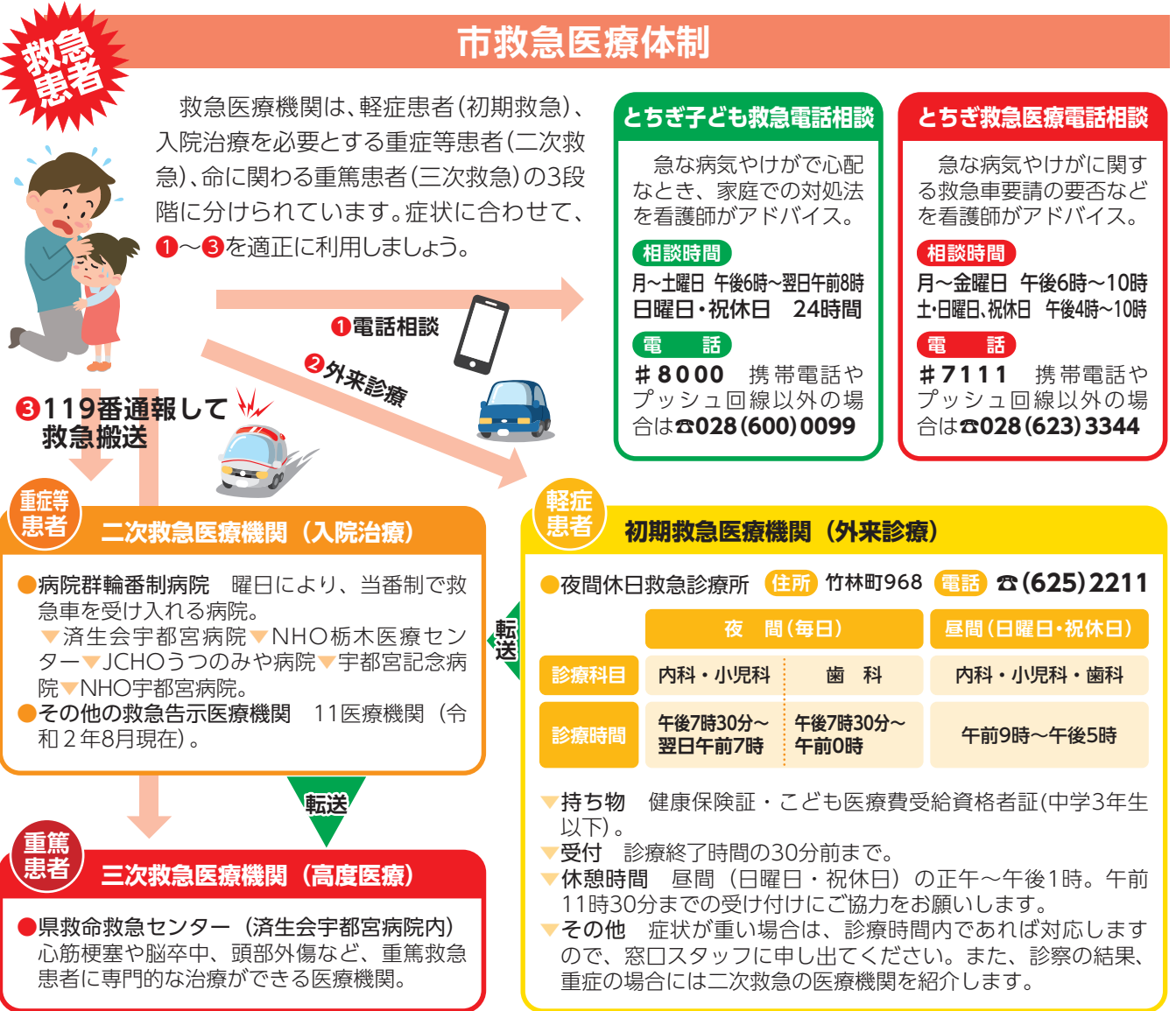




# これって救急？ 気になる疑問を解決！

## Q 救急患者が発生した場合は、すぐに救急車を呼ぶべき？

救急患者の症状（軽症・重症等・重篤の3段階）によって、救急医療機関が分かれています。下の図を参考に、症状に合わせて、①電話相談②外来診療③救急搬送を適正に利用しましょう。



**さらなる救命率の向上へ 10月にドクターカー連携を開始します**

市消防局と済生会宇都宮病院で「ドクターカーに関する協定」を3月に締結し、現在、10月の連携開始に向けて、ドッキングポイント（※）や現場で救急車とドクターカーの連携訓練を行っています。重篤な救急事案が発生した場合、消防局が要請することで、医師・看護師などが搭乗したドクターカーが出動し、早期に処置すること



▲感染予防策を強化した服装での救急活動



▲搬送用アイソレーター装置を使用

**救急搬送の時に感染症対策を行っています**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、市消防局では、感染症が疑われるような、発熱・呼吸器症状などを訴える救急要請があった場合には、左のような感染予防対策を強化しています。

※救急車とドクターカーが待ち合わせするため、あらかじめ定めた合流場所。

## 「もしも」の時救える命を増やすために 「宇都宮市AEDステーション」に 登録しませんか

ID 1004604

市民の皆さんがAED(自動体外式除細動器)を利用しやすい環境づくりを推進するため、いざという時にAEDを提供できる事業所などを、「宇都宮市AEDステーション」として登録しています。

登録施設には、ステッカー(下の図参照)を配布し、設置情報などを市ホームページなどで公表します。

AEDの積極的な活用を促めるため、ご協力ください。

☎保健所総務課 ☎(626) 1104



## ご活用ください 「救急受診の手引き」

ID 1004350

救急受診の手引きでは、救急医療や救急車を適正に利用していただけるよう、普段から心掛けておくことや、夜間・休日に子どもが急な病気やけがをした時に、どのような対応をするのかを分かりやすく解説しています。

保健所(竹林町)などに置いてある他、市ホームページからも閲覧できますので、ご活用ください。

☎保健所総務課 ☎(626) 1103



## 「もしも」の備えを学びませんか? 応急手当講習会

ID 1003342

- 1 東消防署(中今泉5丁目) ☎(663)0119  
▼期日 10月11日(日)。
- 2 南消防署(宮の内1丁目) ☎(653)0119  
▼期日 11月8日(日)。
- 時間 午前9時～正午。
- 内容 心肺蘇生法、AED使用法などの普通救命講習。再講習も可。テキストは市ホームページから確認可。
- 申込開始 開催日の3カ月前。
- 申込方法 電話で、各消防署へ。



## 県救命救急センターで働く 医療従事者に話を伺いました



▲県救命救急センター内



▲医療従事者のカンファレンス(打ち合わせ)

### 救急医療に関して、「現場の声」を聞かせてください

救急搬送されて来る患者さんの中には、軽症の人もいます。軽症の人で病床が埋まってしまうと、1分1秒を争う状態の患者さんに十分な力を割けなくなる恐れがあります。

救急車を呼ばなくても移動できる場合は、自家用車やタクシーを使って病院に向かうことで、助けなければいけない人の命を助けることができます。

救急医療の適正な利用をお願いします。



県救命救急センター副センター長  
髙倉 隆史さん

### 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される中、どのような思いを抱えていますか

まず、マスクを始め、医療物資をご提供くださった企業や個人の皆さま、ありがとうございました。

患者さんと同じように、私たち医療従事者も不安な気持ちがあるため、物資のおかげで安全かつ安心して、医療に専念することができます。

生活や行動にも制限が求められる厳しい状況ですが、皆さんと協力し合って、新型コロナウイルス感染症に立ち向かっていきたいです。



県救命救急センター救急看護認定看護師  
中村 高寛さん

### 21万8,264枚のマスクをご寄付いただきました (7月30日現在)

ID 1023622

新型コロナウイルス感染症対策に係るマスクを、企業や個人の皆さんよりご寄付いただきありがとうございます。

医療機関や社会福祉施設などに配布するなど、医療活動や保健・福祉に係る活動に有効に活用させていただきます。

☎保健所総務課 ☎(626)1131、保健福祉総務課 ☎(632)2919

3007

防課 ☎(625)

問 消防局警

が できます。

を 行うこと

さ さまざまな

な ど、さま

む 集中治療

心 肺)を含

M<sub>o</sub> (人工

術、心肺停止患者に対するE<sub>C</sub>

■ドクターカーとは

大型の車

両を使用し、傷病者の搬送に加え、

病院到着前に重症外傷に対する手



とで、救命率や社会復帰率の向上を図ることが期待されます。